

2026年5月6日

## 「くも膜下出血後の早期離床と機能予後との関連に関する後方視的観察研究」

### 1. 研究の対象

2019年1月1日から2026年5月6日までの間に

大阪急性期・総合医療センター脳神経外科において、破裂脳動脈瘤によるくも膜下出血に対して治療を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

#### 「目的」

くも膜下出血急性期治療後の離床タイミングと機能予後との関連を明らかにし、急性期管理戦略と機能回復との関係を検討するため

#### 「方法」

対象患者さんの診療録、看護記録、リハビリテーション記録、画像所見等を用いて、離床時期（初回座位・立位・歩行）ならびに退院時機能予後等について後方視的に調査を行う

#### 「研究期間」

倫理委員会承認後～2028年12月31日

#### 「利用又は提供を開始する予定日」

2026年8月1日～

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：

診断名、年齢、性別、重症度分類（WFNS grade等）、治療内容、画像所見、リハビリテーション記録、離床時期、退院時mRS、FIM、在院日数、合併症の有無等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

#### 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

〒558-8558

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター

脳神経外科

研究責任者：副部長 玉置 亮

電話 06-6692-1201 内線 7159